

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公表番号】特表2013-544378(P2013-544378A)

【公表日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-067

【出願番号】特願2013-539961(P2013-539961)

【国際特許分類】

G 03 F 7/32 (2006.01)

G 03 F 7/00 (2006.01)

G 03 F 7/039 (2006.01)

G 03 F 7/004 (2006.01)

【F I】

G 03 F 7/32

G 03 F 7/00 503

G 03 F 7/039

G 03 F 7/004 501

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年6月8日(2015.6.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0157

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0157】

(実施例5～8)

上記3%KOH溶液にカルシウムイオンを加えず、上記キレート剤Bayhibit^RAM配合量を変化させたことを除いて、実施例3および4を繰り返した。錯体生成定数を、Trend in Analytical Chemistry, Vol. 22 (10), 2003から得た。その結果を、以下にまとめた。

【表5】

実施例	キレート剤 (配合量、重量)	標準化 重量損失	錯体生成定数 (log K)	
			Ca ²⁺	Al ³⁺
5	Bayhibit ^R AM, 0.002%	1.0	4.4	6.7
6	Bayhibit ^R AM, 0.020%	1.0	4.4	6.7
7	Bayhibit ^R AM, 0.200%	1.0	4.4	6.7
8	Bayhibit ^R AM, 0.500%	1.1	4.4	6.7

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0160

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0160】

(比較例5～16)

現像剤における Bay h i b i t[®] AMを本発明の範囲外の種々のキレート剤に変えたことを除いて、実施例5～8を繰り返した。上記カルシウムおよびアルミニウムに対する錯体生成定数を、Trend in Analytical Chemistry, Vol. 22 (10), 2003から得た。その結果を、以下にまとめた。

【表6】

比較例	キレート剤 (配合量、重量)	標準化 重量損失	錯体生成定数 ($\log K$)	
			Ca^{2+}	Al^{3+}
5	EDDS, 0.002%	1.1	4.7	12.9
6	EDDS, 0.020%	1.3		
7	EDDS, 0.200%	1.7		
8	NTA, 0.002%	1.3	6.4	11.4
9	NTA, 0.020%	1.7		
10	NTA, 0.200%	2.7		
11	EDTA, 0.002%	2.7	10.6	16.5
12	EDTA, 0.020%	2.9		
13	EDTA, 0.200%	3.2		
14	DTPA, 0.002%	1.5	10.8	18.7
15	DTPA, 0.020%	2.7		
16	DTPA, 0.200%	3.1		

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 基材および画像形成可能な層を有し、赤外線吸収化合物を含有するポジ型平版印刷版前駆体を赤外線に画像的に露光して、該画像形成可能な層内に露光領域および非露光領域を提供する工程、および

(B) 該露光した平版印刷版前駆体を、現像剤組成物で現像して、該画像形成可能な層内の露光領域を除去する工程

を含み、

現像剤組成物が、pH少なくとも12を有し、かつ

バリウムカチオン、カルシウムカチオン、ストロンチウムカチオンおよび亜鉛カチオンから成る群から選択される金属カチオン M^{2+} 、および

カルシウムイオンに対する錯形成定数($\log K$)3.5～4.5およびアルミニウムイオンに対する錯形成定数($\log K$)7以下を有するキレート剤を含む、ケイ酸塩を含有しない水性アルカリ現像剤組成物であり、

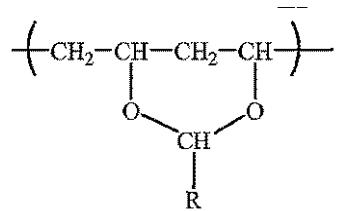
基材が、陽極酸化膜を含む硫酸またはリン酸を用いて陽極酸化したアルミニウム含有支持体である、

平版印刷版を提供する方法。

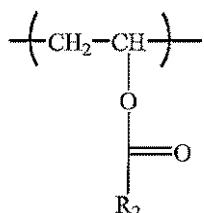
【請求項2】

前記画像形成可能な層が、以下の構造(Ia)および(Ib)：

【化1】



(Ia)



(Ib)

(式中、

構造(Ia)および(Ib)の繰り返し単位の両方が存在する場合、ポリマーバインダ中の合計繰り返し単位をベースとして、構造(Ia)の繰り返し単位が10～35モル%、構造(Ib)の繰り返し単位が25～60モル%存在し、

Rは、置換または非置換ヒドロキシアリール基であり、

R₂は、ヒドロキシリル基がエステル結合に対してオルト位である置換または非置換ヒドロキシアリール基である。)

のいずれかまたは両方によって表される繰り返し単位をランダムに含有するポリマーバインダを含む請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記ポジ型平版印刷版前駆体が、ヒドロキシマンデル酸；アリール基に直接結合する少なくとも1つのアミノ基および少なくとも1つのカルボン酸基を有する有機化合物；またはヒドロキシマンデル酸および該有機化合物の少なくとも1つの両方；を含有する画像形成可能な層を有する請求項1または2記載の方法。

【請求項4】

前記アルミニウム含有支持体が、NaH₂PO₄およびフッ化ナトリウムの溶液で処理された、請求項1～3のいずれか1項記載の方法。

【請求項5】

前記現像剤組成物中の金属カチオンM²⁺がカルシウム、ストロンチウムまたは亜鉛カチオンである、請求項1～4のいずれか1項記載の方法。

【請求項6】

前記現像剤組成物が、さらにクエン酸塩、酢酸塩、酒石酸塩、硝酸塩、およびシュウ酸塩の内の少なくとも一つであるアルカリ金属塩を更に含む、請求項1～5のいずれか1項記載の方法。